



1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	横浜長者町立体駐車場計画	階数	地上4F
建設地	横浜市中区長者町五丁目56-1他	構造	S造
用途地域	商業地域、防火地域	平均居住人員	1人
地域区分	6地域	年間使用時間	8,760時間/年(想定値)
建物用途	工場	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2018年10月 予定	評価の実施日	2017年11月9日
敷地面積	2,005 m ²	作成者	株式会社 内藤ハウス
建築面積	1,556 m ²	確認日	
延床面積	6,096 m ²	確認者	

外観パース等

2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 0.4 ★★★★★

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算

① 参照値: 46 (kg-CO₂/年・m²)

② 建築物の取組み: #DIV/0!

③ 上記+②以外の: #DIV/0!

④ 上記+: #DIV/0!

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです。

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q のスコア = 2.3

Q1 室内環境

Q1のスコア = 0.0

Q2 サービス性能

Q2のスコア = 2.8

Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 1.9

LR のスコア = 1.9

LR1 エネルギー

LR1のスコア = 1.0

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 2.4

LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 2.6

3 設計上の配慮事項		
総合 駅前的好立地に位置し、利便性・収容性の高い立体駐車場。 木調ルーバーによる外装と建物廻りの緑化により、街の景観と調和した環境に配慮した都市型駐車場。		その他 0
Q1 室内環境 ※自動車車庫のため対象外。	Q2 サービス性能 壁長さ比率 < 0.1	Q3 室外環境(敷地内) 隣地境界廻り及び建物エントランス廻りの道路沿いを、樹木植栽にすることで周辺環境に配慮。 建物廻りの緑化及び北面・東面の外装を木調アルミルーバーにすることで、まちなみ・景観に配慮。
LR1 エネルギー LED照明を採用。	LR2 資源・マテリアル -	LR3 敷地外環境 燃焼機器は不使用。 樹木植栽を中心とした敷地内緑化。

■ CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■ Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■ 「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■ 評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される



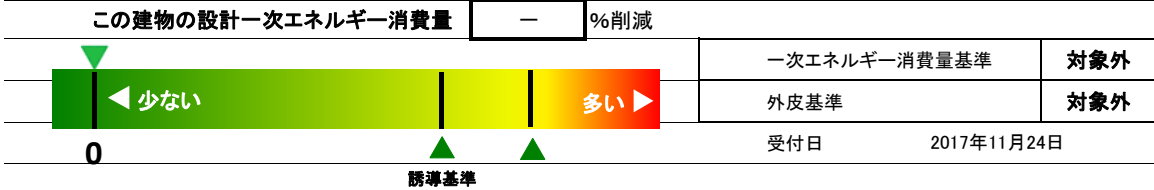
4 横浜市重点項目についての環境配慮概要 <非住宅>

各項目について配慮した内容を、該当する番号(①~)を示し記述してください。

建物名称 **横浜長者町立体駐車場計画**

建築物の省エネルギー性能 (E) Energy Saving 重点項目への取組(5点満点) **【省エネルギー性能】** **—**

■省エネルギー性能 (国土交通省告示に基づく表示)



■エネルギー対策 (①建物外皮の熱負荷抑制 ②自然エネルギー利用 ③設備システムの高効率化 ④効率的運用)

LED照明の採用。

健康・快適な職住環境 (W) Smart Wellness Community 重点項目への取組(5点満点) **【快適・働きやすさ】** **1**

■室内環境対策 (⑨温熱環境対策 ⑩光環境 ⑪空気質環境)

※自動車車庫のため対象外。

■機能性対策 (⑫機能性 ⑬知的生産性向上の取組)

※自動車車庫のため対象外。

■室外環境(敷地内)対策 (⑭敷地内温熱環境の向上)

隣地境界廻り及び建物エントランス廻りの道路沿いを、樹木植栽にすることで周辺環境に配慮。

防災への配慮 (R) Resilience 重点項目への取組(5点満点) **【防 災】** **3**

■耐用性・信頼性 (⑮耐震・免震 ⑯部品・部材の耐用年数向上 ⑰信頼性)

地下への浸水防止措置。

LED照明の採用。

地域・まちづくりへの貢献 (T) Township & Townscape 重点項目への取組(5点満点) **【地域・まちづくり】** **2**

■室外環境(敷地内)対策 (⑱生物環境 ⑲まちなみ・景観 ⑳地域性への配慮)

建物廻りの緑化及び北面・東面の外装を木調アルミルーバーにすることで、まちなみ・景観に配慮。

防犯カメラの設置や視線を遮らない低木を中心とした植栽にすることで防犯性に配慮。

太陽光発電などの導入

環境配慮技術の導入

(太陽光・熱利用、エネルギーマネジメントシステム以外)

エネルギーマネジメントシステム導入